

第6回礼拝音楽研修会だより

2010年1月11日(月・祝) 神戸バプテスト教会にて、
第6回礼拝音楽研修会(宣教部教会音楽室主催・関西地方連合協力)が行われました

基調講演: 「礼拝をみんなで創ろう」～賛美歌から考える
神戸バプテスト教会牧師 坂本 献
分科会: 礼拝と賛美/初歩からの奏楽～ピアノ～/
会衆賛美を豊かに～『新生讃美歌』を用いて
こども～ユースの賛美
参加人数: 107名(スタッフ含む)

分科会 <礼拝と賛美>

篠栗教会 伊藤 聡

豊かで多様な賛美歌を礼拝でどのようにプログラムするか。礼拝プログラムは、簡単に変えずに神学的に音楽的によく吟味せよ。バプテストの賛美の歴史を振り返ると、最初期は歌っておらず、やがて歌い始めたが肉声のみだった。後にオルガン、ピアノが導入された。その節目ごとに論議がなされ、今日の礼拝スタイルが築き上げられた。打楽器を導入するか否かもよく吟味してから導入すれば良い。

賛美歌は時代と共に取捨選択されていく。エクスプロージョンの作家たちは伝統的な曲をアレンジし、現代のニーズにマッチした歌詞を付けて歌った。新曲はもちろんのこと、歴史と伝統をも活かして、これから現代人が抱える痛み、飢え乾きに応えていく賛美歌が生み出されていく必要がある。

教会が自分たちのアイデンティティ、信仰、この時代に何を成すかを追求していく時、新しい賛美歌が生まれる。それは教会に信仰が受肉した印となる。



車座になったの熱心な討議「礼拝と賛美」

分科会

<会衆賛美を豊かに>

神戸西教会 岡室庸子

「会衆賛美を豊かに」の分科会に、とても楽しく参加させて頂きました。

今回とても新鮮で驚いたのは、『ミーター』を使って賛美をしたことでした。前から新生讃美歌の表紙の用い方にも載っているの、知ってはいたのですが使ってみたことがありませんでした。実際に分科会で賛美してみても気付いた事は、歌詞がとても新鮮に感じられたことです。

いつも歌詞を大切に賛美するよう心がけていますが、特に昔からよく賛美する曲は歌詞が頭に入っているか目にする機会が多い為、改めて歌詞に対しての注目度が低くなりがちだと思いました。

実際に親しんだメロディーに違う歌詞で歌おうとすると、どんな歌詞だったかと注目し、また違うメロディーなので心にも違った響き方をして改めて歌詞が心まで染み渡る感じがしました。このような体験が出来た事にとても感謝です。より深く歌詞を心に留めるためにも、この方法をぜひ実践してみたいと思いました。

「全国礼拝音楽研修会」が関西で行われた事に感謝して。

分科会 < 初歩からの奏楽～ピアノ～ >

京都教会 大谷若菜

今現在教会でご奉仕されている方から、今後ご奉仕してみたいという方までが約20名ほど参加しました。

礼拝の中での前奏などの選曲の仕方や、会衆賛美の伴奏の仕方について学びました。その後、実際に参加者が一人ずつピアノで賛美歌を弾き、どのように工夫すればより良くなるのかをみんなで考え、また指導もして頂きました。その中で、それぞれの曲調に合った弾き方や、間の取り方など、楽譜には書かれていない、とても大切なことを学ぶことができました。そして最後には、指導して下さった美登姉自らが賛美歌の伴奏用に簡単にアレンジした楽譜をお土産に頂きました。

今回学んだ事を今後の奉仕の中でぜひ活かしていきたいと思えます。

「さわがしい銅鑼」を実演。
今号の基調講演小冊子を
是非ご覧ください。



礼拝の奏楽に必要なことは...

分科会 < こども～ユースの賛美 >

シオンの丘教会 友光英史

岩崎先生の分科会では、ピアノ、ギター、ドラム等色々な楽器の使い方を学びました。また、ロック風、ジャズ風など、同じ賛美でも異なる音楽ジャンルによって賛美する時に、まったく違った賛美に聞こえることも教えられました。

このことによって、賛美に関する議論で私たちが、『新生讃美歌』を使うべきか、それともワーシップソングを使うべきかという問題は、その議論自体まったく意味がないことが良くわかりました。この問題は世代間の感性の違いから、今まで多くの教会で議論され、私たちが悩ましてきた問題の一つですが、それは、単に音楽ジャンルの問題に過ぎないということが、「主われを愛す」という賛美歌を教会学校風、ジャズ風、ロック風、に賛美することによって、良く理解できました。

今までは、賛美の問題と音楽ジャンルの問題とを分けて考えなかったため、延々と堂々巡りの議論が続いていたことに気づかされました。これからは、「こんなロック調の賛美歌は神様を賛美するのに不適切」と言われても、「この人は、世代間の感性の違いによって、この賛美に使われている音楽ジャンルが受け入れ難いんだろう」と考えることができると思います。



この曲を、どんなアレンジで...ワクワク